

《happy POST!》 R7. 10. 24

三小では、先週から児童会の子どもたちが企画した『happy POST』の活動が始まりました。

この活動は、「三小のみんなに感謝とハッピーを届けよう！」を目指しています。ポストの近くに置かれた紙に、自分の感謝の気持ちを書きハッピーポストに投函します。すると、自分が感謝を伝えたい相手に手紙が届く仕組みです。

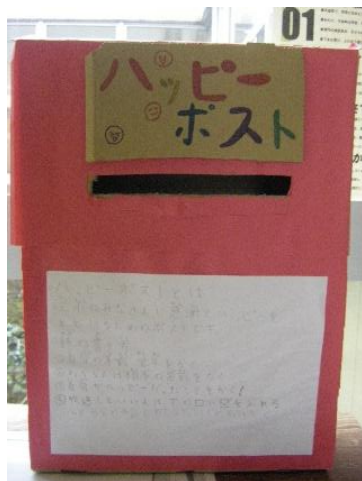
手紙の下にある「放送して OK の人は、レ点してください」の所にチェックを入れると、児童会の子どもたちが、給食の時間にその手紙を全校放送で読み上げ、コメントもしてくれます。

先日も、「〇〇ちゃんへ いつも勉強を教えてくれてありがとう。おかげで、勉強がわかるようになりました。とてもうれしいです。□□より」

「△△くんへ いつもぼくのことを大事にしてくれてありがとう。これからもぼくのことを大事にしてください。よろしくおねがいします。☆☆より」

といった、聞いているこちらまでほっこり幸せな気持ちになれるような、あたたかい手紙が放送されていました。

そして、さらに素敵なことに、その手紙に対して児童会の子どもたちが、「お友達に勉強を教えてもらえるとうれしいですね。」「友達から優しくしてもらえると、すごくハッピーですね。」など、即興でコメントもしてくれるのです。まるで、ラジオを聞いているようで、とても楽しいです。



この『happy POST』の取り組みは全校の子どもたちに大人気で、休み時間になると、どの学年の児童もポストの周りに集まり、「今日は、誰に書こう!」「〇〇先生にも書こう!」と張り切っていて、みんながハッピーになっています。

感謝の気持ちを伝えるということは、ちょっとてれくさい…日々のいそがしさやなどの理由でなかなかはっきりと伝えることができていないことが多いと思います。(これは、子ども

たちだけでなく、私たち大人もそうかもしれません。)

『Happy POST』の取り組みをきっかけに、互いに感謝を伝え合うことが、とても素敵なことだと子どもたちが感じる事ができ、さらに、自然にこまめに感謝を言葉にできるようになってくれたらと願っています。

すばらしい取り組みを発案してくれた児童会の子どもたちにも感謝です。ありがとうございます!

